

京の伝統文化体験授業

— 装束着付け体験記 其の貳 —

じゆうにひとえ ～ 十二単 編～

「十二単」の名で知られる平安貴族女性の正装ですが、実は正式名称を「唐衣・裳装束」と言います。「十二分に (=たくさん) 単を重ねる」ことから、十二単と呼ばれるようになったのだそう。

袴の色は二種類。
紫色は未婚女性で
紅色は既婚女性が着ます。



まずは袴をはきます。



ひとえ
単を着るのも小袷と同じですが…



うちき
袷を重ねていきます。



上から紐でくくったら…

ここがポイント！

十二単、なんと二本の紐だけで着付けをしていきます！
最終的には「裳」の紐一本で止まっています。



下の装束の紐を抜きます。
これを繰り返します。



上着を重ね、襟元を整えます。



からぎぬ
唐衣 (緑) を着て



最後に裳の腰紐 (紫) を結び、
着付け用の紐を外せば…



からぎぬ
唐衣

も
裳

唐衣裳装束の完成！



後姿

つづく…